

放課後等デイサービス 自己評価結果（公表）

公表:平成31年 3 月 30 日

品川区立品川児童学園分室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			仮移転中ですが、法令順守しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			法令基準に加え、児童指導員1名を配置しています。
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用児および保護者の身体状況に応じた室内環境に配慮しています。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			担当者集団として、職員がPDCAを実施しています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○			アンケート調査に記載された内容や集計結果を、事業所職員全員で共有し、その後の運営に配慮しています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			年度内に法人ホームページで公開予定です。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			区の委託により、実施しています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			区主催の研修、法人研修のほか、外部からの講師を継続して招聘しカンファレンスを事業部として取り組んでいます。この他、民間研修について職員全員に周知し、希望者が自己研さんできるよう支援しています。受講後には、資料回覧や伝達等により内容の共有にも取り組んでいます。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			標準化されたアセスメントツールを用いて適切なアセスメントを行い、保護者のニーズや利用児の現状での評価を実施したうえで、個別の支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
適切 な 支 援 の 提 供	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員参加により作成した年齢別の年間プログラムを基に、グループ成員の特性に応じた活動プログラムを毎回作成しています。当日は保護者にプログラム解説も実施しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			年間を通した隔週曜日別グループ活動です。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本がグループ療育ですが、利用児の特性による必要性に応じて、そのような取り組みを支援計画に取り入れています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回、念入りな打ち合わせを実施し、SSTプログラム内でのモデリングの練習や予測される利用児の行動への対応策などを検討します。また、終了後は課題のねらいに沿った活動内容となっていたかを振り返ります。この振り返りをもとに次回のグループ療育プログラムを計画する流れになっています。
	⑰ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲ ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			厚労省が定めるガイドラインを基に事業所独自の基本活動を用いて支援を実施しています。
関 係 機 や 保 護 者 と の 連 携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの登下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	○			利用児の担任教諭との連携を保護者のニーズに応じて実施しています。保護者とともに利用する形態のため、記載されたことでの連携はありません。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	○			本年度 非該当
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園児童発達支援センター等専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			利用児は普通小学校に所属しており、設問に該当しません。

関係機 や保護者 との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4年生までのグループ療育であり、設問に該当しません。
	②5	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	非該当		区立事業所であり、同一組織の児童発達支援センターとは連携しており、職員研修等も合同で実施しています。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	非該当		所属校の有る利用児が当事業所の対象となっています。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		グループ終了後にその都度、フィードバックしています。また、プログラム下段に連絡紙を設け、日々、保護者からの情報やニーズを収集し共通理解に取り組んでいます。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムを(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者支援の一環として、1時間のプログラム中に保護者には別室にて当日の課題のねらいを最初に説明したり、活動後は保護者宛フィードバックを行っています。今後も、保護者が求める保護者支援をより充実できるよう、質問紙にタイムリーに回答する、面談時間を増やす等々、取り組んでまいります。
保護者 への説明 責任等	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	○		新年度はグループ終了後に保護者との対話時間が多く取れるよう職員体制を更に充実する予定です。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	非該当		隔週グループでもあり、保護者会や父母の会は実施していません。保護者担当職員から、グループ内で保護者の交流ができるよう共有できる話題を提供しています。
保護者 への説明 責任等	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③4	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	非該当		会報はありません。グループ療育以外の行事を組んでおりません。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○		
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	非該当		
非常時 等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		建物を共有する区立児童センターと合同の諸訓練を定期的にも実施し、所轄の消防署の指導をその都度受けています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○		法人事業部として、年度初めに必ず研修を実施しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	非該当		
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	非該当		
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○		